

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																
東京ウェディングアンド ブライダル専門学校		平成23年9月7日		高田 幸一		〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-3 (電話) 03-5842-4931																
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日		屋間 一彦		〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641																
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																	
商業実務	商業実務専門課程	ブライダルヘアメイクアンドドレス科		令和2年2月29日 文部科学省 公示	-																	
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、ウェディング・ブライダル業界に従事しようとする者に必要な知識、技能を教授し、明日のブライダル業界を担う人材を育成することを目的とする。																					
認定年月日	平成28年2月19日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技															
2	昼間	62	27	46	6	0	10															
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)		専任教員数	兼任教員数	総教員数																
240人	209人	0人		19人	15人	34人																
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価																		
長期休み	■夏 季: 7月中旬から8月下旬までの約1ヶ月 ■冬 季: 12月下旬から1月上旬までの約2週間 ■春 季: 3月上旬から4月上旬までの約1ヶ月			卒業・進級 条件																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 スタートアッププログラム 個人面談 未来デザインプログラム			課外活動																		
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) ホテル、結婚式場、ヘアメイク、ドレスショップ、フォトスタジオ等 ■就職指導内容 身嗜み指導、履歴書添削、筆記試験対策、面接対策指導 ■卒業者数 79 人 ■就職希望者数 57 人 ■就職者数 54 人 ■就職率 95 % ■卒業者に占める就職者の割合 68 % ■その他 ・進学者数: 18人 (令和 2 年度卒業者に関する 令和3年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3																		
	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業科目の成績評価は、試験、レポート、履修状況等を総合的に勘案して行い、各科目ごとの基準についてはシラバスに示す。 ■課外活動の種類 海外研修、インターンシップ ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブライダルコーディネーター技能検定</td> <td>②</td> <td>73人</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>JNAジェルネイル技能検定</td> <td>③</td> <td>79人</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td>花嫁着付け2級</td> <td>③</td> <td>79人</td> <td>79人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄</p>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ブライダルコーディネーター技能検定	②	73人	41人	JNAジェルネイル技能検定	③	79人	71人	花嫁着付け2級	③	79人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																			
ブライダルコーディネーター技能検定	②	73人	41人																			
JNAジェルネイル技能検定	③	79人	71人																			
花嫁着付け2級	③	79人	79人																			
中途退学 の現状	■中途退学者 13 名 ■中途率 7 % 令和2年4月1日時点において、在学者191名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者178名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 目標喪失・経済的理由・心身耗弱 等 ■中退防止・中退者支援のための取組 チーム担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。																					
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無 ※有の場合、制度内容を記入 特待生による学費の一部免除制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象、非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																					
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: (有)無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																					
当該学科の ホームページ URL	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-bridal/course/coordinator/																					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。  
 (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
 ①「就職率」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。  
 ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。  
 ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。  
 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。  
 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について  
 ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。  
 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、ブライダル分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、ブライダル分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
藤木 義行	マリエ クラッセ株式会社 常務取締役	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
阿部 友子	株式会社 ティア 代表取締役	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
佐々木 貴夫	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	①
飯島 英和	東京ウェディングアンドブライダル専門学校 副校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
末安 由香	東京ウェディングアンドブライダル専門学校 副校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
坂本 裕香	東京ウェディングアンドブライダル専門学校 主任	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
栗谷川 佳奈美	東京ウェディングアンドブライダル専門学校 教員	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(7月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年9月4日 10:00～11:00

第2回 令和2年12月22日 10:00～11:45

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

①インターンシップについて

企業インターンシップにおいては、勤務を開始するも勤務継続が難しく途中でリタイアしてしまうケースが多い。これまで以上に学校内での事前指導が必要ではないかとの意見を踏まえ、令和3年度教育課程より「インターンシップ対策」という科目を新設。加えて、インターンシップ就業後のフォロー体制も強化が必要と判断し、インターンシップ先への訪問や生徒の個人面談にも注力していく。

②企業が求める実践力を備えた人材の育成について

現場が求める社会人基礎力及び今後必要とされるコミュニケーションスキルの向上のため、「主体性を持ち、自ら考え、行動に移す」機会を授業内で多く取り入れることを目指して、各科目のシラバス内における生徒指導目標に追加を行った。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を施すにあたり、ブライダル業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。ブライダル業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ブライダル業界を担う人材として、業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につけるを狙いとし、演習科目を設定。企業様よりブライダル業界の現在の課題や今後の見通しについて講話を頂き、それを踏まえてプレゼンテーションを実施する。そのプレゼンテーションを企業の方々へ評価・フィードバックを頂くことにより、より実践的な感覚を習得する。

評価基準として、上記企業様によるプレゼンテーションの評価を中心にレポート等を総合的に勘案しながら成績評価を実施。

定期的に企業様と学校にて、授業シラバスの進捗確認や生徒の様子を共有し、改善など協議をしている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
ブライダルプロジェクトIB	ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につけるべく、課題・改善策を考え、プレゼンテーションできる力を学ぶ	株式会社 長沼
3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記		
実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日のブライダル業界を担う人材を養成する為には、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身に付けようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規定」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。 ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修 ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上の為の研修		
(2)研修等の実績		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名「ウェディング業界の現状」(連携企業等:セールス戦略コンサルタント 和田 靖子様 ) 期間:令和2年8月21日(金) 対象:30名 内容:コロナ禍における業界の現状や打開策として実際に企業が取り組み。また、コロナ禍における結婚式実施の流れや企業努力としての新たにに取り組む(予定含む)サービス等を紹介。		
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名「就職活動の進め方」(連携企業等:株式会社マイナビ) 期間:令和2年9月9日(水) 対象:14名 内容:専門学生としての就職活動の進め方のポイント、大学生と比較した専門学生の優位性と差別化の手法として、自己分析・自己PRの方法を教授		
(3)研修等の計画		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名「求められるウェディングの変化とその対応」(連携企業等:ウェディング ジョブ 石渡雅浩様 ) 期間:令和3年8月20日(金) 対象:114名 内容:コロナ禍ウェディングの現状、これまでとこれからの採用について		
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名「教育の場における“多様性”について考える」(連携企業等: EAPオフィスレジリエンシー 石井 実夏様 ) 期間:令和3年8月24日(火) 対象:45名 内容:心理的安全性の高い学校づくりのために気がかりな生徒への基本対応		
4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係		
(1)学校関係者評価の基本方針 学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。 学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。		
(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応		
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目	
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標	
(2)学校運営	(2)学校運営	
(3)教育活動	(3)教育活動	
(4)学修成果	(4)学修成果	
(5)学生支援	(5)学生支援	
(6)教育環境	(6)教育環境	
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集	
(8)財務	(8)財務	
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守	
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	(11)国際交流	
※(10)及び(11)については任意記載。		
(3)学校関係者評価結果の活用状況 新入生の入学前の状況として、上京に対する不安や新しい環境に対する不安も多いのではないかと意見をいただく。それを踏まえ、保護者への説明会だけでなく入学予定者においても友人作りや学校生活がイメージできるようなイベントを開催。任意での参加としているため、全入学希望者の参加ではないが、一定の成果は感じられた。		

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
松浦 知美	株式会社らかんスタジオ 店長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業委員
山口 恵美理	株式会社ブライダルプロデュース	令和3年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業委員
木下 徳之	飛鳥未来さずな高等学校 教頭	令和3年4月1日～令和4年3月31日(3年)	教育に関し知見を有する者
春田 奈菜子	卒業生	令和3年4月1日～令和4年3月31日(4年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) ( )

URL: URL: [https://www.sanko.ac.jp/tokyo-bridal/pdf/kankeisyahyouka\\_tokyo.pdf](https://www.sanko.ac.jp/tokyo-bridal/pdf/kankeisyahyouka_tokyo.pdf)

公表時期: 令和3年8月24日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげる。

2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。

3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげる。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2) 各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要件、目指すべき人材像、取
(3) 教職員	教員数、組織、専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6) 学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) ( )

URL: URL: [https://www.sanko.ac.jp/tokyo-bridal/pdf/school\\_information.pdf](https://www.sanko.ac.jp/tokyo-bridal/pdf/school_information.pdf)

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダルヘアメイクアンドドレス学科)															
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ブライダル知識ⅠA	国家検定であるブライダルコーディネーター検定取得を目標としブライダル業界全体の知識を身につける	1年、前期	15	1	○			○	○		
2	○			ブライダル知識ⅠB	国家検定であるブライダルコーディネーター検定取得を目標としブライダル業界全体の知識を身につける	1年、後期	15	1	○			○	○		
3	○			未来デザインプログラムA	社会人としての考え方や行動習慣を学ぶ	1年、前期	15	1	○			○	○		
4	○			未来デザインプログラムB	社会人としての考え方や行動習慣を学ぶ	1年、後期	15	1	○			○	○		
5	○			ブライダルビジネスマナー	検定取得を目指す。社会人として必要な敬語・履歴書・ビジネス文書など	1年、前期	30	2	○				○		
6	○			パーソナルカラー	検定取得を目指す。カラーの知識を学び、コーディネート力・提案力を身に付ける	1年、後期	30	2	○			○		○	
7	○			キャリアデザインⅠA	就職活動の流れを理解し、エントリー方法・履歴書作成や面接方法を身につける	1年、前期	30	2	○			○	○		
8	○			キャリアデザインⅠB	就職活動の流れを理解し、エントリー方法・履歴書作成や面接方法を身につける	1年、後期	30	2	○			○	○		
9	○			マーケティング	必須行事であるブライダルコンペティションと連動し、ブライダル業界のニーズや動向動向について知る	1年、後期	15	1	○			○	○		
#	○			ドレスデザインA	衣装の知識を学び、全米ブライダル協会ドレススタイリスト検定取得を目指す	1年、前期	30	2	○			○		○	
#	○			ドレスデザインB	衣装の知識を学び、全米ブライダル協会ドレススタイリスト検定取得を目指す	1年、後期	30	2	○			○		○	
#	○			インターンシップ対策	ブライダルの現場に出るための準備や社会人としての考え方や心構えを養う	1年、前期	15	1	○			○	○		
#	○			アテンド実践A	結婚式当日のアテンド（介添）の知識、立ち振る舞い、心得を修得する	1年、前期	30	1	○			○	○		
#	○			フラワーアレンジ	検定取得を目指す。装花の種類を理解し、様々なスタイルの作成ができる	1年、前期	45	2	○			○		○	
#	○			ブライダルプロジェクトⅠA	必須行事である模擬挙式を創り上げることを通して、挙式の流れや役割、想像力を身につける	1年、前期	30	1	○			○	○		
#	○			ブライダルプロジェクトⅠB	必須行事であるブライダルコンペティションを創り上げることを通して、企画力や発想力、プレゼンテーション能力を身につける	1年、後期	30	1	○			○	○		○
#	○			ブライダル知識ⅡA	国家検定であるブライダルコーディネーター検定取得を目標としブライダル業界全体の知識を身につける	2年、前期	30	2	○			○	○		
#	○			ブライダル知識ⅡB	国家検定であるブライダルコーディネーター検定取得を目標としブライダル業界全体の知識を身につける	2年、後期	30	2	○			○	○		
#	○			キャリアデザインⅡA	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける	2年、前期	15	1	○			○	○		
#	○			キャリアデザインⅡB	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける	2年、後期	15	1	○			○	○		
#	○			ブライダルジュエリー	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ。	2年、前期	15	1	○			○		○	
#	○			ブライダルプロジェクトⅡA	日頃の授業のアウトプットを行いながら、行事の準備を進めることで、主体性・協調性・実践力を身に付ける。	2年、前期	30	1	○			○	○		
#	○			ブライダルプロジェクトⅡB	日頃の授業のアウトプットを行いながら、行事の準備を進めることで、主体性・協調性・実践力を身に付ける。	2年、後期	30	1	○			○	○		
#	○			花嫁着付けⅠA	着付けに関する知識・技術を身に付けると同時に、検定取得を目指していく。	1年、前期	45	2	○			○		○	
#	○			花嫁着付けⅠB	着付けに関する知識・技術を身に付けると同時に、検定取得を目指していく。	1年、後期	45	2	○			○		○	
#	○			ベーシックメイクA	メイクの基礎テクニックを学ぶ（入門）	1年、前期	45	2	○			○		○	
#	○			ベーシックメイクB	メイクの基礎テクニックを学ぶ（検定取得に向けて学ぶ）	1年、後期	45	2	○			○		○	
#	○			ブライダルネイルⅠA	ネイルの基礎テクニックを学ぶ（ネイリスト技能検定3級取得に向けて学ぶ）	1年、前期	45	2	○			○	○		
#	○			ブライダルネイルⅠB	より高いネイルテクニックを学ぶ（ジェルネイル検定初級に向けて学ぶ）	1年、後期	45	2	○			○	○		
#	○			ブライダルヘアアレンジⅠ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを学ぶ	1年、前期	30	1	○			○	○		
#	○			花嫁着付けⅡA	着付けに関する知識・技術を身に付けると同時に、検定取得を目指していく。	2年、前期	45	2	○			○		○	

#		○ 花嫁着付けⅡB	着付けに関する知識・技術を身に付けると同時に、検定取得を目指していく	2年、後	45	2		○	○		○	
#		○ ブライダルネイルⅡA	ネイルの基礎テクニックを学ぶ (ネイリスト技能検定3級取得に向けて学ぶ)	2年、前	45	2		○	○		○	
#		○ ブライダルネイルⅡB	より高いネイルテクニックを学ぶ (ジェルネイル検定初級に向けて学ぶ)	2年、後	30	1		○	○			○
#		○ ブライダルエステA	エステの基礎テクニックを学ぶ	2年、前	30	1		○	○			○
#		○ ブライダルエステB	エステの基礎テクニックを学ぶ	2年、後	30	1		○	○			○
#		○ パソコンスキル	タイピング・Word・Excelの基礎を学ぶ。	2年、前	30	1		○	○			○
#		○ ビジネスメール	ビジネスメールの知識を学び、ブライダル業界でお客様・取引先とのやり取りが出来るようになる	2年、後	30	1		○	○			○
#		○ ブライダルメイクⅠ	ブライダルに関するメイクの基礎を学ぶ	1年、後	45	2		○	○			○
#		○ ブライダルヘアアレンジⅡ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを学び技術の幅を広げる	1年、後	45	2		○	○			○
#		○ ブライダルヘアアレンジⅢ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを活かし技術の幅を広げる	2年、前	45	2		○	○			○
#		○ ブライダルヘアアレンジⅣ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを活かし技術の幅を広げアレンジ力を高める	2年、後	45	2		○	○			○
#		○ ブライダルメイク&フォトA	ブライダルのテーマ&パターンに合わせてメイクの提案ができるようになる	2年、前	45	2		○	○			○
#		○ ブライダルメイク&フォトB	学んだテクニックをアレンジし、ブライダルのフォト作品づくり	2年、後	45	2		○	○			○
#		○ 洋装・和装メイクA	ブライダルの洋装と和装に合わせたヘアメイクのテクニックを学ぶ	2年、前	30	1		○	○			○
#		○ 洋装・和装メイクB	ブライダルの洋装と和装に合わせたヘアメイクのテクニックを学ぶ	2年、後	30	1		○	○			○
#		○ ドレススタイリングA	ドレスデザインA、Bで学んだ知識を活かし、ドレスの取り扱いやコーディネートスキルを身に付ける	2年、前	30	1		○	○			○
#		○ ドレススタイリングB	ドレスデザインA、Bで学んだ知識を活かし、ドレスの取り扱いやコーディネートスキルを身に付ける	2年、後	30	1		○	○			○
#		○ ブライダルヘアメイクⅠ	ヘアアレンジの基礎テクニックを活かし、アレンジ力技術の幅を広げる	1年、後	30	1		○	○			○
#		○ ドレスフィッティング	ドレスデザインA、Bで学んだフィッティング技術を実践し、即戦力を身に付ける	1年、後	30	1		○	○			○
#		○ ドレスソーイング&メンテナンスⅠ	ドレススタイリストの仕事の一端である、補正・染み抜き・裾上げ・アイロン掛け等のメンテナンス業務を学ぶ	1年、後	30	1		○	○			○
#		○ ドレスカウンセリングA	ドレススタイリストに必要なカウンセリング力、トーク力を身に付ける	2年、前	15	1	○		○			○
#		○ ドレスカウンセリングB	ドレススタイリストに必要なカウンセリング力、トーク力を身に付ける。	2年、後	15	1	○		○			○
#		○ ドレスコーディネートA	ドレスフィッティングで身に付けた技術を活かし、ロールプレイングを通して接客スキルを身に付ける	2年、前	30	1		○	○			○
#		○ ドレスコーディネートB	ドレスフィッティングで身に付けた技術を活かし、ロールプレイングを通して接客スキルを身に付ける	2年、後	30	1		○	○			○
#		○ ドレスソーイング&メンテナンスⅡ	ドレスソーイング&メンテナンスⅠの知識・技術を活かし、メンテナンス業務が出来る。また、作品作りを行う	2年、前	30	1		○	○			○
#		○ ドレスソーイング&メンテナンスⅢ	ドレスソーイング&メンテナンスⅠ、Ⅱの知識・技術を活かし、メンテナンス業務が出来る。また、作品作りを行う	2年、後	30	1		○	○			○
#		○ ブライダルヘアメイクⅡ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを学び技術の幅を広げる	2年、前	30	1		○	○			○
#		○ ブライダルヘアメイクⅢ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを活かし技術の幅を広げる	2年、後	30	1		○	○			○
#		○ インターンシップⅠ	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身に付ける	1年、後	60	2		○		○		○
#		○ インターンシップⅡ	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身に付ける	2年、前	60	2		○		○		○
#		○ インターンシップⅢ	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身に付ける	2年、後	60	2		○		○		○

62科目

2025 89

2025単位時間( 89単位)

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業要件単位数は、31単位に当該学科の修業年限相当数を乗じた単位数以上とする。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。